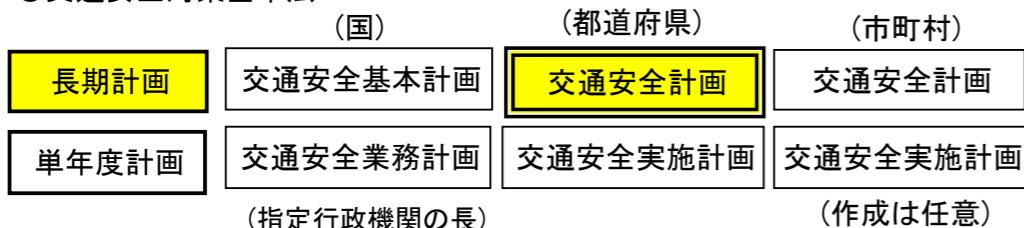


第10次山梨県交通安全計画(H28～H32) 概要版

交通安全計画の根拠と経緯

◎根拠・位置付け

○交通安全対策基本法



◎性格

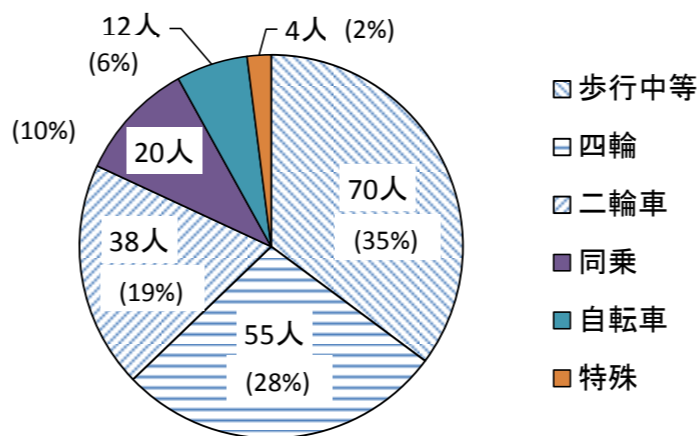
本県の陸上交通における安全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱で、市町村が作成する交通安全計画の指針

◎経緯

OS46 第1次～山梨県交通安全計画を作成 以後、5年毎に作成

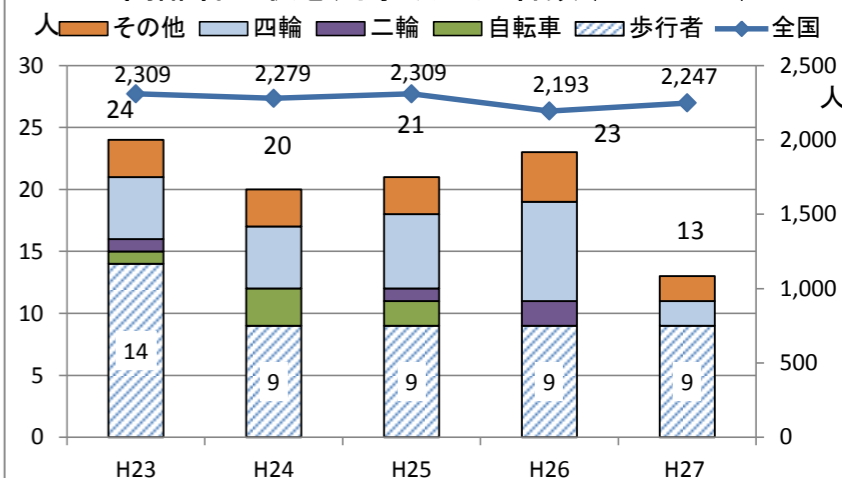
本県の交通事故の特徴等

状態別事故の死者数(H23～H27)



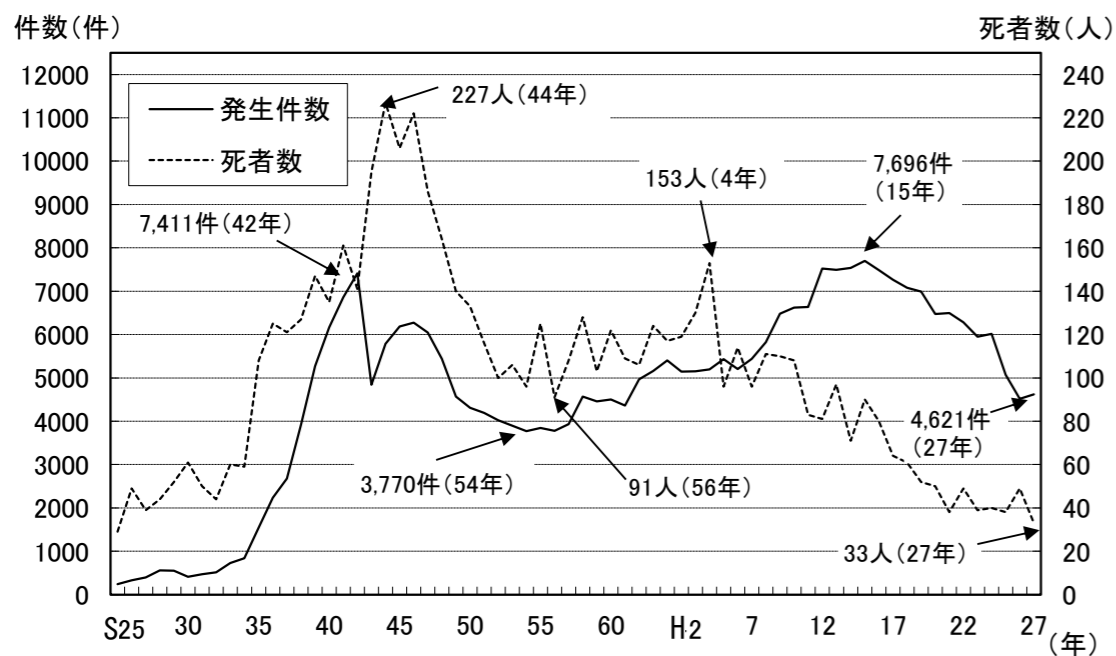
○死亡事故のうち、歩行中等、四輪、二輪車、同乗で9割を占める

高齢者の状態別事故の死者数(H23～H27)



○死亡事故に占める高齢者の割合は高く、歩行中等が最も多い

本県の交通事故件数、死者数の推移

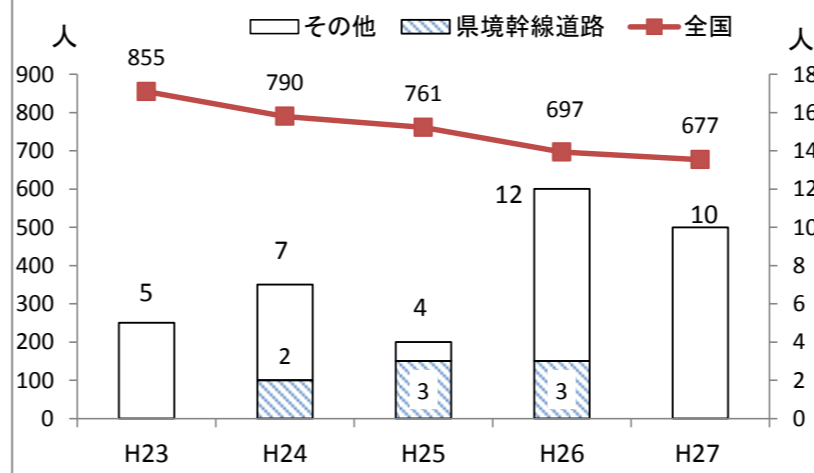


本県の過去10年間の道路交通事故発生件数、死者数の推移

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
発生件数(件)	7,082	6,992	6,477	6,493	6,283	5,950	6,015	5,067	4,514	4,621
死者数(人)	61	52	50	38	49	39	40	38	49	33

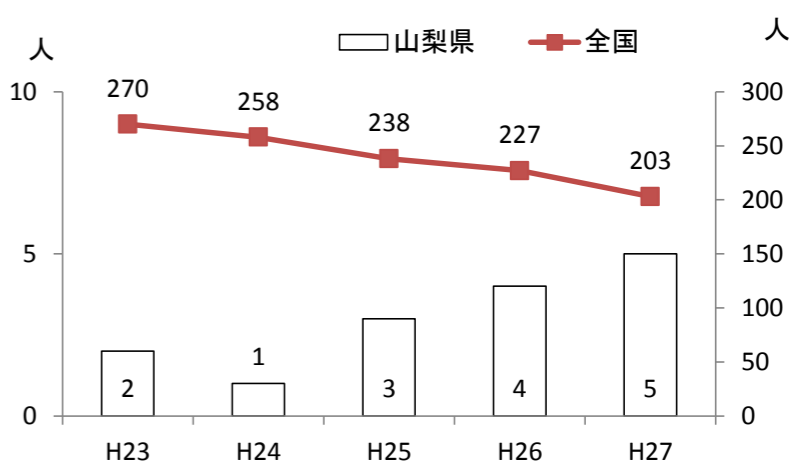
※第9次計画(H23～H27)の目標 「最終年に、発生件数:5,300以下、死者数:35人未満」

二輪車の交通事故による死者数の状況(H23～H27)



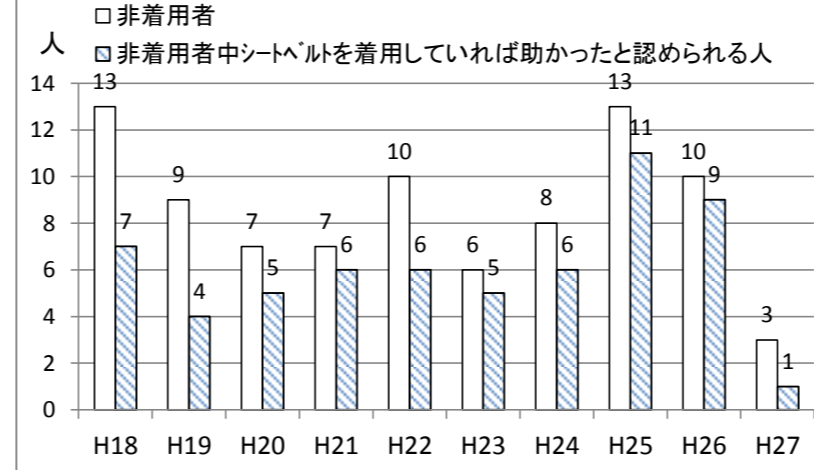
○全死者数の3割(33人中10人)と、二輪車による割合が高い

飲酒運転による死亡事故の状況(H23～H27)



○飲酒による事故率が高い(近年人口10万人当たり全国ワースト3位以内)

死亡事故におけるシートベルトの着用状況(H18～H27)



○シートベルト非着用者の交通事故死が多い

◎課題

○高齢者の死亡事故が多い。特に歩行中における死亡事故に占める高齢者の割合がH27の実績では約7割

○近年、二輪車による死亡事故が増えている。

○全死亡事故に占める飲酒事故の割合が下がっていない。

○運転席のシートベルト着用率は全国平均を上回っているが、後部座席、チャイルドシートの着用率は全国平均を下回る。シートベルト非着用者の死亡事故が多い。

第10次山梨県交通安全計画

- ◎計画の期間 平成28年度～32年度
- ◎計画の基本理念 交通事故のない社会を目指す
- ◎計画の推進主体 行政機関（国、県、市町村）、事業者、県民 等

◎基本的な考え方

本県における交通事故の特徴は、高齢者の歩行中の事故、二輪車による事故、飲酒運転による事故、シートベルト非着用による死亡事故が多いことであり、平成27年の状況を見ると交通事故による死者33人のうち27人がこれらの事故で尊い命を失っている。

今後、高齢化の進展にともなう交通事故の増加が懸念される中、基本理念に掲げる交通事故のない社会を実現するため、これまで行ってきた幅広い対策を引き続き実施するとともに、本県の交通事故の特徴に対応した対策を重点的に実施することで、交通事故件数及び死者数を減少させる。

○目標

道路交通

①計画の最終年における年間交通事故発生件数

4,400件以下

②計画の最終年における年間交通事故死者数

30人以下

※参考：交通安全基本計画(国)目標/2,500人以下

③飲酒運転の根絶

④全席シートベルト・チャイルドシートの着用率
100%

鉄道交通

①乗客の死者数ゼロ
②運転事故全体の死者数減少

踏切道における交通
踏切事故件数ゼロ

○取り組みの方向性

道路交通安全についての対策

幅広い対策を実施する一方で、本県の課題に対応した対策を重点的に取り組むことで交通事故のない社会を目指す。
→上記の観点から8つの柱により交通安全対策を実施

鉄道交通の安全についての対策

重大な列車事故の未然防止、利用者等が関係する事故の防止

踏切道における交通の安全についての対策

高齢者等の歩行者対策等、踏切の状況を勘案し、効果的な対策を推進

○8つの柱

(1) 道路交通環境の整備

(2) 交通安全思想の普及徹底

(3) 安全運転の確保

(4) 車両の安全性の確保

(5) 道路交通秩序の維持

(6) 救助・救急活動の充実

(7) 被害者支援の充実と推進

(8) 研究開発及び調査研究の充実

○道路交通における主な施策

- 人優先の安全・安心な歩行空間の整備
- 高速道路の更なる活用促進による生活道路の機能分化
- 幹線道路における交通安全対策の推進

- 参加・体験・実践型の活動の推進
- 反射材用品の普及促進
- 飲酒運転の根絶に向けた規範意識の確立
- シートベルト等の正しい着用の推進

- 高齢運転者支援の推進(運転免許返納をしやすい環境整備)
- 二輪車安全運転の推進

- 先進安全自動車の開発・普及の促進
- 自動車点検整備の充実

- 飲酒運転の指導取締りの推進
- 自転車利用者に対する指導取締りの推進
- 暴走族対策の推進

○主な施策

鉄道交通

- 鉄道施設等の安全性の向上
- 鉄道交通の安全に関する知識の普及
- 保安監査の実施

踏切道における交通

- 踏切道の立体交差化、構造の改良及び歩行者等立体横断施設の整備の促進
- 踏切保安設備の整備及び交通規制の実施(高齢者等の歩行者対策の推進)
- 踏切道の統廃合の促進

★重点的な取り組み

- ①高齢者の交通事故防止対策
 - ・反射材の着用促進を交通安全運動の中で重点的に取り組む
 - ・運転免許返納について交通安全運動の中で広報啓発
 - ・シミュレーター等を活用した体験型教育の促進
- ②二輪車の交通事故防止対策
 - ・県境の道の駅等における街頭指導の強化
 - ・実技型講習会の開催
- ③飲酒運転防止対策
 - ・取り締まりの強化
 - ・飲酒運転防止を交通安全運動の中で重点的に取り組む
 - ・飲酒運転防止に関連した業界と連携した街頭キャンペーン等の実施
- ④シートベルト等の着用率の向上
 - ・シートベルト模擬衝突体験機を活用した交通安全教室等
 - ・着用推進の日や着用重点期間の設定など

○ ドクターヘリ事業の推進

- 損害賠償請求の援助活動等の強化
- 交通事故被害者等の心情に配慮した対策の推進

- 安全な自動走行の実現のための調査研究
- 高齢者の交通事故防止に関する研究の推進
- 道路交通事故原因の総合的な調査研究の充実強化